

森りょうじ リポート。(71号)

～ 皆さんと一緒に、森も動く。～

政府は9月末に開会した臨時国会を「地方創生国会」と位置付けています。流山市を「地方」と呼ぶかは別としましても、過疎化や高齢化、経済疲弊の現状を見れば地方の改革は待ったなしです。地域主権改革という姿勢と合わせた地方創生策を期待しています。

■厳しくチェックする。(副委員長として)

9月議会では決算審査が行われ、副委員長の立場で審議に臨みました。円滑な議事運営が大きな責務でしたが、質問の際は以下の点を重視しました。

- ① 税金が適切に使用されたか？(無駄の排除)
- ② 税金を投入して得られた効果は？(費用対効果)
- ③ 予算計上されなかった事業の進捗と見通し(初石駅や豊四季駅の片側改札口の開設問題など)
- ④ “競争原理”だけでなく、地域経済の活性化や産業育成にも繋がる税金の活用(循環型の地域経済)

■ご案内:第4回定例会 11/27-12/17(予定)

今任期(来年5月まで)の定例会は残すところ2回となりました。初心を忘れずに、最後まで『一般質問』と『所管以外の委員会審査の傍聴(全議案に対する説明責任)』を続けていきたいと思えます。

昨今、地方議会には厳しい目が向けられています。そのことを肝に銘じ、議員や議会は今何をすべきかを自問自答しながら行動していきたいと思えます。

○1976年6月12日流山生まれ(38歳)

※サラリーマン家庭(父はNTTに勤務)で育つ
流山市立新川小、流山市立北部中卒業
日本大学第一高校、武蔵大学経済学部卒業

○2000年4月 大成建設株式会社に入社

○2003年4月 流山市議会議員に初当選(2,692票)

○2007年4月 千葉県議会議員選挙に挑戦(次点)

○2007年6月 シンクタンク東京財団政策研究員(2年間)

※世界や日本の地方政治・地方自治を研究

○2011年4月 流山市議会議員当選(二期目)

※市政史上の最高得票4,508票をいただきトップ当選

※政治理念はケネディ大統領の「国が何をしてくれるかではなく、自分が国のために何ができるか」。

趣味:政治(人と語る・駅頭)・読書・コミュニケーション

体型:身長160.5cm・体重53.8kg

後援会事務所:流山市中野久木559-2

討議資料

森が動く。

森りょうじ



流山市議会議員

ワークライフバランスといったスタイルが求められている時代ですが、私は「心のバランス」を保つために読経や座禅を日常生活に取り入れています。1回に1~2時間程ですが、終わった後の清々しさは独特のものがあります。

時間や情報に追われる現代、無念無想(雑念がなく心が澄み切っている状態)の状態を保つことは難しいものですが、僅かな時間でも心掛けたいものです。

一般質問

【森が動く、政治を動かす。】

内部ガバナンスを強化する

少し専門的になりますが、今年6月に会社法が改正されました。様々なポイントがありますが、私が重視するのがガバナンス（統治）機能の強化を目指す「社外取締役選任の促進」です。これはどういったものでしょうか。

一般的に日本企業の上層部（取締役会）は内部昇格をしてきた社員を中心に構成されており、社内の意向を重視する傾向が強いとの意見があります。これは経済が右肩上がりのような時代は良いのですが、厳しい経営環境にある場合には大きな落とし穴（組織の硬直化や不正等）になる可能性

を潜んでいます。そこで今回は市長の右腕となる副市長職を現行の1名から2名体制（1名を外部任用）に変更してはどうかと質しました。

資料：自治体ガバナンスを強化する

- 政策→市民（選挙）・議会・オンブズマン等
- 財政・金融→監査委員・議会・市民（健全化条例）
- 行政組織→行政内部（のガバナンス）・議会



- ①地方分権の推進…権限・財源移譲の受け皿に
- ②人事の監督強化…多発する職員不祥事など
- ③積極的なトップセールス…意思決定の迅速化
- ④新しいトップ人材の活用による庁内活性化
- ⑤多選自粛ムードの緩和…禁止条項の見送り

答弁では『庁内の意思決定の迅速化やコスト負担を見ても現体制を維持していく』との内容でした。現在の市長・副市長体制は12年目を迎えていることから、組織が硬直化しないようしっかりと監視をしていきたいと思えます。

Way to TOKYO 2020

東京五輪の開催決定から1年が経過しました。先のアジア大会を見ても、スポーツが持つ可能性や魅力は本当に力強いものがあります。そこには五輪決定を契機とした更なるスポーツ振興も期待されます。6月には五輪関連の誘致（事前合宿等）を政府へ要望したこともあり、これを引き合いに以下の3点について提案をしました。

- ①市スポーツ賞の確立⇒スポーツ部門賞設立へ
- ②東葛地域でのフルマラソン大会の創設（中学校東葛駅伝を10km延長するルート案など）
- ③流山に縁が深い『卓球競技』を誘致へ！

WebSite「森りょうじ」を検索！
また Twitter・Facebook も更新中！

消費税増税に関する現状と対策

消費税率8%への移行から半年が経ちました。当初想定していたよりも駆け込み需要に対する反動減が目立つなど厳しい経済指標が出てきています。では流山市の地域経済はどのような状況かを確認しました。

産業振興部長の答弁では、小売・建設業は厳しいが製造業・サービス業はよい傾向にある。先行きは概ね改善の方向とのことでした。今後とも注視すると同時に、2点要望をしました。

- ①最新の景気動向調査結果をHPに掲載を！
- ②10%への再増税前に建築工事・物品購入などを前倒しすることで歳出抑制へ努めること

50.36%を超えろ！

2011年に実施された市長・市議会議員選挙の投票率は50.36%です。昭和50年代には70%を超えていたこともありますので、街の発展は大いに歓迎しつつも、市政への参加に繋げていくことは中々難しいというのも実際のところだと思います。そのため、新たな取り組みや工夫、また改善策が必要だと思います。

- ①選挙のインターネット解禁を利用した新たな取り組みを⇒市民の方が最も目にする市ホームページのトップ画面に選挙特設コーナーを開設（月平均66万アクセス）⇒実施へ！
- ②将来の有権者の育成⇒市内中学校や高校で投票箱を活用した生徒会選挙などを実施へ

小さな命を救え！

3月議会でも質問した動物愛護問題。質問後、同問題に取り組む市民ボランティアの皆様が集まり、市と協働して問題解決に向けた取り組みを始めています。昨年は愛護センターへの引き取り数が80匹と前年よりも増えてしまいましたが、殺処分ゼロに向けて、私も頑張りたいと思えます。

資料：動物（ペット）に優しい街へ。

◎千葉県動物愛護管理条例(案)要旨

※平成26年第3回定例会に上程予定

- ①飼い主の責務の明確化
- ②多頭(10匹以上)飼養の届け出義務
- ③犬の係留義務・猫の屋内飼養の努力義務
- ④収容動物を減少させる取り組み

※10年後、引き取り半分を目標(推進計画)

※千葉県議会に上程された条例の要旨



【連絡先】TEL & FAX: 7155-3236
Mail: ryoji612@peach.ocn.ne.jp